市立伊丹高校NEWS

Active! ICHIKO

平成 24 年度 第6号
発行 伊丹市立伊丹高等学校
伊丹市行基町 4 丁目 1 番地
平成 25 年 1 月 25 日号

吹奏楽部 ICHI☆ITA JAZZ Ensemble 最優秀賞

第4回たかつきスクールJAZZコンテスト

2年連続！

1 月 12 日(土) 11:00～17:00、高槻現代劇場 中ホールにて、第 4 回たかつきスクール JAZZ コンテスト（主催：高槻まちづくり株式会社）が開催され、本校 ICHI☆ITA JAZZ Ensemble は、「We Three Kings Of Orient Are」と「Beautiful Friendship」を演奏し、みごと 2 年連続最優秀賞に輝きました。このコンテストは、近畿一円の中学校・高等学校のスクールバンドを対象に公募し開催されます。審査員には、プロのジャズミュージシャンを迎える、年に一度のジャズ・コンテストです。ここで最優秀に選ばれたバンドには、高槻において今や都市ブランドにもなったとも言える「高槻ジャズストリート」のメイン会場である高槻現代劇場大ホールへの出場権が授与されます。市高はこの副賞である第 15 回高槻ジャズストリートへ出場することが決まりました。このイベントには昨年に引き続き宇崎竜童さんが出演することも決定しています。 5 月のゴールデンウィークをお楽しみに。優秀賞は、中学の部: 西宮市立西宮浜中学校、高校の部: 京都府立工業高等学校が選ばれました。

商業科

商品開発と販売実習活動が紹介されました

1 月 12 日（土）白雪長寿蔵（伊丹市中央）にて、商業科の生徒が、オリジナル開発商品 5 種類の洋菓子を販売しました。それに先立ち 1 月 7 日、伊丹市役所記者クラブにおいて取材を受け、1 月 8 日（火）毎日新聞、9 日（水）産経新聞、11 日（金）神戸新聞の各紙に、この活動について紹介していただきました。当日は 11 時の開店前に数人の行列ができるほどで、午後 1 時過ぎには、用意していたすべての商品が完売しました。これは商業科の地域研究活動の一環として商品開発に取り組んだもので、「清酒発祥の地・伊丹」、「伊丹原産のワシントンの桜 100 周年」をテーマに設定し、市内の菓子製造業者の協力を得て、酒粕入りのブッセ，マドレーヌ、サクラをイメージしたチョコボール，ラスク，カステラを完成させたものです。商品企画から、製造業者との打ち合わせ、仕入・販売計画など、ビジネス活動を実社会で体験するいい機会となりました。次回の販売は 2 月 10 日（日）、「冬の元気まつり（三軒寺前広場）」に参加し、販売します。さらなる新商品も開発中です。

地元酒造メーカーなどの協力を得て菓子を開発した高校生たち＝伊丹市役所

「酒と桜」の伊丹をPR

地元高校生が菓子開発

あす販売

清酒発祥の地で、昨年は米国ワシントンに桜の台木を寄贈してから100年となった伊丹市をPRしようと、市立伊丹高校の生徒たちが「酒と桜」にちなんだ菓子を開発した。地元酒造会社などと協力して完成させた5品が12日、市内で販売される。

伊丹の地域性を生かした商品で町をアピールしようと、同校商業科の有志12人が手がけた。課外活動の一環で昨年夏から構想を練り、酒造会社やPRしようと、市立伊丹高校の生徒たちが「酒と桜」にちなんだ菓子を開発した。地元酒造会社などと協力して完成させた5品が12日、市内で販売される。

伊丹の地域性を生かした商品で町をアピールしようと、同校商業科の有志12人が手がけた。課外活動の一環で昨年夏から100年となった伊丹市をPRしようと、市立伊丹高校の生徒たちが「酒と桜」にちなんだ菓子を開発した。地元酒造会社などと協力して完成させた5品が12日、市内で販売される。

伊丹の地域性を生かした商品で町をアピールしようと、同校商業科の有志12人が手がけた。課外活動の一環で昨年夏から構想を練り、酒造会社や

グローバル・コミュニケーションコース 1,2年生による

GCジョイント

絆を深め、互いを高め合うGCコースの良き伝統

平成 24 年 12 月 25 日（火）、26 日（水）の 2 日間、GC コース学年間の縦のつながりを形成し、お互いを高め合う目的で、英検と数学の学習を行う「GC ジョイント」を実施しました。

英検学習では、GC コース 1,2 年生を、2 級合格者、準 2 級合格者、準 2 級挑戦者の 3 グループに分け、英検 2 級合格者は 1 年生の準 2 級挑戦者への指導・助言を行い、1・2 年生の準 2 級合格者および準 2 級挑戦中の 2 年生は、2 級に向けた学習を英語科教師の指導の元で学習するという内容です。また数学学習では、2 年生をグループに分け、2 年生の理系選択者と文系で数学が得意な生徒が 1 年生の数学学習の指導・助言を行います。指導役の生徒は、先生と事前に教材や指導項目の打ち合わせを行いました。

1 年生は、2 年生の素晴らしい部分を見つけ、2 年生は、1 年生の模範となれる部分を自分の中に見つけ出す。これをきっかけに、きっと GC コースの絆が生まれるに違いありません。

炊き出しボランティア In 橘公園(尼崎)

1 月 7 日（月）尼崎の橘公園にて、ホームレスの方々の越冬支援ボランティアとして NPO 法人「神戸の冬を支える会」の炊き出しボランティアに生徒 12 名が参加しました。食材の洗浄、調理、配食（豚汁、ご飯、みかん等）、食後の皿洗いなどのお手伝いをしました。

阪神大震災以降 18 年間、毎冬続けておられるボランティアの方々と共に関わることで、異世代間の交流ができたこと、ホームレスのみなさんの中には、人と「話す」ことを求めている人が沢山いること、自分たちと変わらない年代の人も存在すること、あたり前のことに「ありがとう」と言ってもらえることなど、多くの発見や収穫がありました。

冬のこの寒い空の下で、暖房設備の無いところで、今もなお震えている人の存在があるということを、改めて生徒たちは認識しました。

3年生音楽選択者による

卒業演奏発表会

1 月 23 日（水）音楽教室にて 3 年生選択Ｈ音楽選択者による「卒業演奏発表会」が開かれました。プログラムは全部で 8 曲。ピアノ，リコーダー，ギター，ベース，ドラム，トランペットなどの楽器を使い、主に 2 学期から練習しました。各グループで選曲を行い、一人ひとりが目標を持って取り組み、グループで協力して合わせる練習を積み重ねてきました。様々な課題や問題点を克服しながら、音楽表現を工夫する過程は地道な活動でしたが、一回一回が曲の完成に向けての楽しい時間でした。

編集後記

1 月 17 日、多くの尊い命が失われた阪神淡路大震災から 18 年になりました。この日は神戸市内のほか阪神間でも被災地各所で追悼のつどいが開かれました。市高では防災訓練を実施し、いざという時のための各自の身を守る行動と避難方法について確認しました　／　新しい年が始まって早くも 1 か月が経とうとしています。センター試験、自己採点、大学入試、学年末考査と、3 年生は今高校生活のラストスパート。毎日早朝から放課後遅くまで勉強してきた結果が試されるとき。ゴールはもうすぐ眼の前にあります。どうか笑顔で駆け抜けてほしい　／　2 年生は 17（木）～20（日）、北海道ルスツリゾートへ修学旅行に出かけました。誰もが高校時代で最も思い出に残った事としてあがるのは修学旅行。大きな事故もなく全員元気に帰ってきました。詳細は次号で紹介します。